



Universität Bielefeld

Fakultät für
Erziehungswissenschaft



FRIEDRICH
EBERT
STIFTUNG

プログラム

ドイツと日本の教師による二国間ワークショップ

「授業のテーマとしてのヘイトスピーチ」

民主主義教育についての交流

2019年10月13日(日)から14日(月・祝)

上智大学

後援： フリードリヒ・エーベルト財団

第 1 日 : 2019.10.13(日)

時間	テーマ	担当	通訳(逐次): 日本語⇄ 英語・ドイツ語
10:00-10:40	挨拶、日程の説明・紹介(教師たちと専門家たち)、二国間ワークショップの進行計画	全員 3人の主催者	
10:40-11:30	日本でのヘイトスピーチ出現の政治的背景	講演: 俵義文	
11:30-11:40	質問、討論		
11:40-12:20	ドイツでの民主主義教育の脈絡におけるヘイトスピーチ現象	講演: コッホ・ブリーヴェ	
12:20-12:30	質問、討論	司会: コッホ・ブリーヴェ	
12:30-13:30	昼食		
13:30-14:20	社会と学校でのマイノリティの処遇に関する問題: 日本でのヘイトスピーチ現象	講演: 出口真紀子(上智大学)	
14:20-14:30	質問、討論		
14:30-15:00	ドイツの学校制度の仕組みと目的、マイノリティへの対応	講演: ライナー・デヴァンティエ	
15:00-15:10	質問、討論		
15:10-15:30	日本の学校制度の仕組みと(新たな)目的(例えば道徳教育)		
15:30-15:40	質問、討論		
15:40-16:00	休憩		
16:00-16:30	マイノリティの状況についての意見交換、比較、討論、評価		
16:30-18:00	事前に送付してある授業レポートの意見交換、日独教師が一緒に2~3人のグループを5つ作る。	1グループごとに通訳 1人、1グループは通訳なしで英語での意見交換	
18:30-20:30	懇親会		

第2日:2019年10月14日(月・休)

時間	テーマ	担当、内容の詳細	通訳:日本語⇄英語・ドイツ語
9:00-9:15	挨拶、この日の計画	3人の主催者	
9:15-9:30	前日の意見交換の振り返り: 4つの論点:1)自分の意見に近いところは何か? 2)異質なところは何か? 3)不明なところは何か? 4)どのようなヒント・提案があったか?	それぞれの教師が個々にメモを作成する。1*	
9:30-11:00	日独からなる2つの小グループ(それぞれ6人の教師からなる)での振り返りと意見交換とプレゼンテーション	各教師が9:30までに作ったメモを小グループ内で発表する。	
11:00-11:15	休憩		
11:15-12:30	日独のグループ作業の成果のプレゼンテーション(それぞれ1つのレポートと1つの共同報告)と討論	全員、司会者:未定 9:30からの作業の結果を2つのグループが順次、2人が発表し、その後討論する。3*	
12:30-13:30	昼食		
13:30-15:00	自分の授業改善のための具体的提案の作成。例えば: ・ヘイトスピーチというテーマの新たな授業のコンセプト ・ヘイトスピーチの特別な予防策の提案	日独別の2つの小グループでの作業 4*	
15:00-16:00	日独の2つのグループの作業結果のプレゼンテーション	全員 5*	
16:00-16:15	休憩		
16:15-17:15	自分の授業と相互の提案の改善提案のフィードバック、コメント、示唆	全員 6*	
17:15-18:00	総括、評価、ワークショップ3日目のプラン(学校訪問)、終了	全員 7*	